

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

The Dickens Fellowship of Japan

2018年度春季大会

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

Spring Conference 2018

Programme

日時：2018年6月16日(土) Date: 16 June 2018

会場：同志社大学 今出川キャンパス 良心館101 (京都市上京区今出川通烏丸東入)

Venue: 101, Ryoshinkan Building, Imadegawa Campus, Doshisha University,
Karasuma-higashi-iru, Imadegawa-dori, Kamigyo-ku, Kyoto-shi

理事会 Board of Trustees Meeting (14:00 – 14:30) 今出川キャンパス 良心館426

開 会 Opening Address (14:35 – 14:40)

新野 緑 (ディケンズ・フェロウシップ日本支部長) Midori Niino

(President, The Dickens Fellowship of Japan)

第 1 部 研究発表 Short Paper Session (14:40 – 15:20)

司会： 矢次 綾 (松山大学) Aya YATSUGI (Matsuyama University)

杉田 貴瑞 (早稲田大学) Takayoshi SUGITA (Waseda University)

『ドンビー父子商会』における喜劇的人物の役割

The Effect of Comic Characters in *Dombey and Son*

第 2 部 ミニレクチャー Mini Lecture (15:30 – 16:10)

司会： 田中 孝信 (大阪市立大学) Takanobu TANAKA (Osaka City University)

大塚 正民 (弁護士) Masatami OTSUKA (Counselor at law)

スターン対マーシャル事件：ジャーンダイス対ジャーンダイス事件の「アメリカ版」

Stern v. Marshall Case: “American Version” of Jarndyce and Jarndyce Case

第 3 部 講 演 Lecture (16:30 – 17:30)

司会： 中村 隆 (山形大学) Takashi NAKAMURA (Yamagata University)

講師： 佐々木 徹 (京都大学) Toru SASAKI (Kyoto University)

『荒涼館』の気になるディテイル

Some Intriguing Details of *Bleak House*

懇親会 (18:00 – 20:00) Convivial Party

会場：french restaurant will (京都市上京区御所八幡町103 烏丸今出川上る西側)

同志社大学 室町キャンパス 寒梅館7階)

会費：一般5,000円 学生3,000円

第1部 研究発表 Short Paper Session

『ドンビー父子商会』における喜劇的人物の役割

早稲田大学大学院生

杉田 貴瑞

『ドンビー父子商会』においては、これまでポール・ドンビー氏の内的葛藤に多くの注目が集められてきた。従来このドンビー氏の心理は、ドンビー氏自身の冷淡な外面描写や心の動きを追った作者の叙述、あるいは同じプライドを纏ったイーディスとの関係から論じられてきた。一方で、ドンビー氏の外見描写には、多分にカリカチュア的な誇張表現が含まれていることも見過ごせない。しかし、そのような特徴に関しては、まだまだ十分な議論がされていないように思われる。これらの点を踏まえて、本発表では、ドンビー氏をやはりカリカチュア的に描かれる作中の喜劇的人物、特にドンビー氏と直接関わるカトル船長やトゥーツの造形と比較して、両者の差異を示すことでドンビー氏の内的葛藤についてこれまでとは違う角度から考察したい。

第2部 ミニレクチャー Mini Lecture

スターン対マーシャル事件：ジャーナダイス対ジャーナダイス事件の「アメリカ版」

弁護士

大塚 正民

アメリカ合衆国最高裁判所2011年6月23日判決のスターン対マーシャル事件判決における首席裁判官ロバーツの法廷意見（多数意見）は、『荒涼館』のジャーナダイス対ジャーナダイス事件に関する記述の引用から始まっている。石油事業において莫大な財を成し、テキサス州の超富豪層の一人といわれた J. ハワード・マーシャル二世（1905年1月24日～1995年8月4日）の遺産を巡って、先妻の次男ピアースと後妻ヴィッキーとの間で争われたこの訴訟は、当事者が死亡した後もその遺言執行人によって承継されることになる。上告の度に判決は二転三転し、最終的に15年の歳月をかけてやっと終結に至ることになるが、最高裁での裁判官意見は二分されていた。「アメリカ版」ジャーナダイス対ジャーナダイス事件ともいべきこの裁判の主要な関係者や判決に至る経緯を詳細に辿りながら、ジャーナダイス対ジャーナダイス事件との類似や相違について明らかにしたい。

第3部 講演 Lecture

『荒涼館』の気になるディテイル

京都大学教授

佐々木 徹

改めて言うまでもないが、『荒涼館』はまことに緻密な構成を持った小説である。しかしながら、これだけの長さの物語だから、辻褄が合わないところが出てくるのはほとんど避けがたい。Gilian West の “Some Inconsistencies in *Bleak House*” (*The Dickensian*, Autumn 1991) はそのいくつかを鋭く指摘している。しかし、彼女が取り上げたものの中には、ディケンズの不注意の産物のように見えるかもしれないのだがよく考えてみると実はそうでもなさそうだ、という興味深いディテイルが含まれている。本発表では、ネモが集めていた新聞記事と、「バーバリー」という名前との二点についてじっくり吟味してみたい。特に後者はプロット全体に関わる大きな問題と思われる。

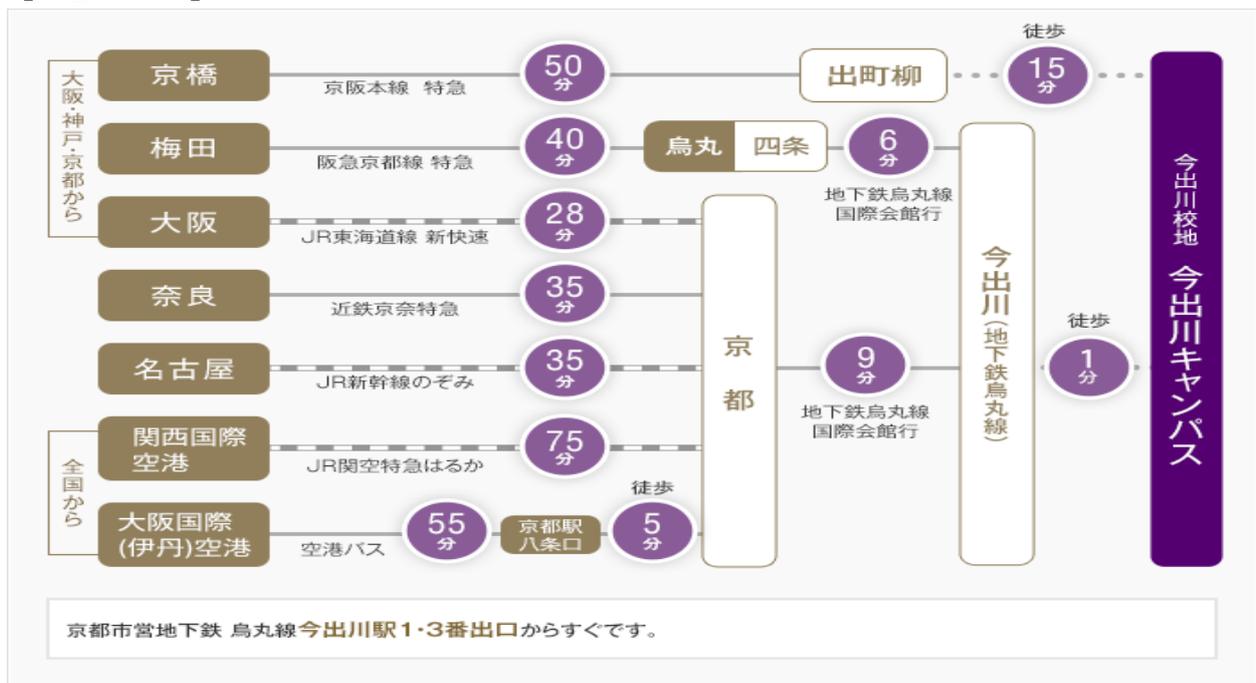
アクセスマップ

今出川キャンパス



【住所】 602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入 Tel: 075-251-3120 (広報課)
 Karasuma-Higashi-iru, Imadegawa-dori, Kamigyō-ku, Kyoto City, Kyoto, 602-8580 Japan

【交通アクセス】



*良心館は、京都市営地下鉄今出川駅北改札口(1番出口)より出てすぐになります。

キャンパスマップ



懇親会場
寒梅館 7階
french restaurant will

大会会場 良心館 101
理事会会場 良心館 426
控室 良心館 102